

# 工業団地の 新たな価値を確立へ。



神奈川県内陸工業団地協同組合  
理事長 歳原博幸

だんち  
だより



第105号

2026年(令和8年)1月31日発行



謹賀新年

組合員並びに関係各位の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、米国の関税措置などの通商政策により、様々な分野での経済活動に大きな影響を与えたとともに、世界各地での軍事衝突など、地政学的リスクも相まって、国際協調の難しさが浮き彫りとなりました。

による影響や、人件費の高騰および人材不足が払拭できない一年でもありました。また、10月には、日本の初的女性首相 高市首相が誕生するという転換点を迎えるなど、社会・経済ともに変化のスピードが一段と増し、私たちが

## 情熱と変革を象徴する丙午の年 持続的な成長と付加価値の向上を

今年は、60年ぶりの丙午(ひのえうま)の年です。丙午(ひのえうま)は火の上に火が重なることから、情熱と変革を象徴する特別な干支とされています。

60年前、当組合は県内最大級規模の工業団地協同組合として設立し、高度経済成長により発展を遂げた後も、様々な経済環境の変化に対応しながら今日に至っております。

そして現在では、国の政策においても、技術立国への再加速をする投資牽引型経済への転換や、地域の安全・安心の強化など危機管理投資に対する期待の聲が高まっている中で、私たち協同組合としては、製造業と物流拠点との共存という、新

取り巻く環境も大きく揺れ動いた一年でございました。そのような中であつても、組合員や行政・関係各位の皆さまのご支援とご協力により、私どもは着実に歩みを進めることができましたと、改めて深く感謝申し上げます。

たな工業団地としての確立を目指し、持続的な成長と付加価値の向上に努めております。

そのためには、大きな課題として、交通渋滞の解消と、入庫待ち待機トラックの駐車問題を解決しなければならぬと考えております。

厚木市・愛川町を始めとする地元行政や神奈川県・そして国会議員の皆さまにもご協力をいただきながら、中長期的な視点で解決に向けて取り組んでまいりたいと思っております。

結びに、本年が皆さまにとりまして健康とご多幸に満ちた一年となりますよう祈念いたします。新年のごあいさつとさせていただきます。

本年もどうぞよろしく  
お願い申し上げます。

本年もどうぞよろしく  
お願い申し上げます。

## 年頭のご挨拶

神奈川県中小企業団体中央会  
会長 森洋

会員並びに関係者の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様

昨年、我が国経済は、米国の通商政策等による影響が一部に見られましたが、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがあるなど、全体としては緩やかな回復が続きまし

た。そうした中で、中小・小規模事業者においては、為替が円安傾向で推移し、エネルギー・原材料価格が高止まりして

います。深刻さを増す人手不足を背景に依然として防衛的賃上げを余儀なくされ、最低賃金の大幅な引上げも重なって人件費負担が増大するなど

厳しい経営環境にありまして。こうした増加するコストの価格転嫁は少しずつ進んでいますが、業種や取引構造によって進捗に差があり、十分な転嫁が進まず収益を確保しにくい環境が続いていることは、各種の調査でも明らかとなっております。

今後、官公需を含めて一層の価格転嫁・取引価格の適正化を着実に進めるとともに、デジタル技術を活用するなどして生産性を向上させ、稼ぐ力を高めていくことが重要であります。

本会としては、こうした中小企業の皆様を取り巻く複合的な課題に対応するため、県や国の中小企業支援施策を有効に活用していただけるように、生産性向上に資する設備導入、業務効率化、デジタル化への投資などを後押ししてまいります。また、人手不足への対応としては、安心して外国人材を活用できる環境整

備が、今後ますます重要になるものと考えておりますので、令和9年4月に開始される育成就労制度を見据え、行政や専門家と連携して引き続き課題整理と対策の検討を進めてまいります。

明けた令和8年も国内外の経済の先行きには不透明さを伴いますが、こうした時代だからこそ、「連携」をキーワードに、中小企業の皆様が持続的に成長できる環境づくりを進めていくことが一層重要となっております。本会といたしまして

も、経営基盤の強化、生産性向上、事業革新や付加価値創造への取り組みを全力で支援し、会員各位と共に神奈川県から経済の好循環を実現すべく役割を果たしてまいります。

今年、この干支は丙午です。変化を恐れず新しい挑戦に踏み出すパワーを秘めた年とされ、全力で最大の成長を目指し、それを成し遂げる年といわれています。皆様におかれても果敢な挑戦により本年が成長と飛躍の一年となりますよう心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

今年、この干支は丙午です。変化を恐れず新しい挑戦に踏み出すパワーを秘めた年とされ、全力で最大の成長を目指し、それを成し遂げる年といわれています。皆様におかれても果敢な挑戦により本年が成長と飛躍の一年となりますよう心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

今年、この干支は丙午です。変化を恐れず新しい挑戦に踏み出すパワーを秘めた年とされ、全力で最大の成長を目指し、それを成し遂げる年といわれています。皆様におかれても果敢な挑戦により本年が成長と飛躍の一年となりますよう心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

今年、この干支は丙午です。変化を恐れず新しい挑戦に踏み出すパワーを秘めた年とされ、全力で最大の成長を目指し、それを成し遂げる年といわれています。皆様におかれても果敢な挑戦により本年が成長と飛躍の一年となりますよう心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



# 難題解決に向けて一丸

令和8年1月21日 新年賀詞交換会

令和8年の幕開けにあたり、1月21日に内陸工業団地会館大会議室で新年賀詞交換会を開催いたしました。ご来賓の皆さまをはじめ、組合加盟企業などから総勢70人ほどにご出席いただき、華やかに新年を祝う歓談の場となりました。

冒頭、あいさつに立つた当組合の歳原博幸理事長は、トランプ大統領による関税措置、グリーンランドやベネズエラの問題などにもふれ、国際協調の難しさに懸念を示しました。また、組合としては、トラックなど大型車両の路上駐車や交通渋滞が大きな問題になっているとし、「ここにお集まりの皆様と手を取り合え、難題の解決に向けて取り組んでいきたい」と述べました。

ご来賓を代表して、日頃から当組合活動の事業運営に多大なご支援をいただいている厚木市の山口貴裕厚木市長は、「この後、県議会議員の佐藤圭介様からご祝辞をいただきました。また多くの祝電もいただきました。その後は愛甲商工会会長の中村美好様による乾杯で歓談に入りました。当組合活動の事業運営を支援いただく皆様と、親交を深めるひと時となりました。」

山口貴裕市長、愛川町の小野澤豊町長をはじめ、衆議院議員（当時）の後藤祐一様、県議会議員の佐藤圭介様からご祝辞をいただきました。また多くの祝電もいただきました。その後は愛甲商工会会長の中村美好様による乾杯で歓談に入りました。当組合活動の事業運営を支援いただく皆様と、親交を深めるひと時となりました。



あいさつする歳原博幸理事長



山口貴裕厚木市長



後藤祐一衆議院議員（当時）



中村美好愛甲商工会会長の乾杯



小野澤豊愛川町長



佐藤圭介衆議院議員



## 災害に備えて共同防災訓練を実施

2025年11月19日

当組合では、今年度も共同防災訓練を昨年11月19日に実施いたしました。この日は、午後1時10分に震度5以上の大地震が発生した想定で訓練を実施し、75社が参加しました。

密閉空間を避け、団地会館駐車場に災害対策本部を設置。厚木市や愛川町の危機管理担当課との無線連絡のほか、組合で保管する防災備蓄品、防災用資機材の動作確認や、非常照明の点灯などをチェックしました。

また、団地内を8つの地域に分け、それぞれの地域で想定上の被災状況報告など実際に無線機で行うと

ともに、令和7年5月12日に「災害時における飲料水等の調達に関する協定」を締結したことにより、帰宅困難対策として社内待機する人数及び社内待機により必要となるペットボトル飲料本数を今回新たに報告事項としました。（報告集計結果75社、社内待機2,332人、ペット飲料5,747本）

訓練後は、神奈川県温泉地学研究所研究員の板寺一洋さんを講師に招き、会館の大会議室で「地震・火山災害に備える」と題した講演会を開催しました。富士山の噴火や、神奈川県周辺の地震及び火山災害、そして今後の備えなどについて、講演いただきました。



（左）災害本部を設置し、市や町と無線連絡（右）75社が参加した

### 事務局より

新年あけましておめでとうございます。

丙午（ひのえうま）の年は、「新しい挑戦に踏み出すのに良い年」とも言われます。

組合員の皆さまの事業にとって勢いと発展の一年となることを願っています。

内陸工業団地協同組合事務局では今年も、皆さまの事業運営に役立つ組合事業を展開してまいります。

依然として、物価高や人手不足など課題は多いものの、地域の力を結集し、団地組合としても引き続き情報提供とサポートを強化していく所存です。

皆さまにとって実り多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げますとともに、引き続き、ご意見や話題の提供もお待ちしております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。